

〔設問 1〕

以下の事例を読み、問に答えなさい。

A ちゃんは、妊娠 34 週で 1680g と低出生体重で生まれました。NICUに入院後、父親と母親に、ダウン症の可能性があることおよび今後染色体検査の必要性があることについて、医師より説明されました。説明後、父親の表情は固く、母親は泣きだしていました。

(50 点)

〔解答欄〕

問 1. 3 日後面会に訪れた母親は、看護師であるあなたに『医師の診断に間違いはないのですか。』と質問しました。あなたは、母親がどのような心理的段階であると考えるか、理論を用いて具体的に説明しなさい。また、この時期の母親にどのようなケアが必要であると考えるか、具体的な実践について論理的に説明しなさい。(25 点)

問 2. 4 週間ほど経過し 2000g を超えた A ちゃんは退院間近となりました。母親は、抱っこや授乳も上手にできるようになりました。母親は退院できることを喜ぶ一方で、自宅でのケアに不安を訴えることがあります。あなたは、どのように母親へ直接的な支援を行う必要があると考えるか論理的に説明しなさい。また、地域の専門職とどのように連携する必要があると考えるか論理的に説明しなさい。(25 点)

〔設問2〕

以下の事例を読み、問に答えなさい。

B君は、生後胎便排出がなく、高位鎖肛と診断されました。医師より、緊急の人工肛門形成術が必要について、家族に説明がありました。父親と母親は、呆然としており、手術することをためらい、拒否する発言がありました。

(50点)

〔解答欄〕

問1. あなたは、子どもの権利および親の意思決定権の側面からこのことをどのように考えたか論理的に説明しなさい。(20点)

問2. あなたは両親の意思決定をどのように支援したいと考えるか論理的に説明しなさい(両親の発言の背景の視点、情報提供の視点、チーム医療の視点などからの検討)。(30点)